

館報

下粟津

第93号

下粟津町勢

(平成29年11月現在) (28年11月)

世帯数 563世帯(-7) (570世帯)
町民数 1,982名(-58) (2,040名)
男子 930名(-35) (965名)
女子 1,052名(-23) (1,075名)

下粟津町公民館 TEL44-3123
アドレス simoawazumachi@tempo.ocn.ne.jp
事務局受付時間
月曜日～金曜日 午前9:00～午後1:00
月末土曜日 午前9:00～午後4:00
(題字は町内会長)

ホームページ <http://shimoawa.sakura.ne.jp> 下粟津 検索

11/4
土曜日

公民館まつり

11/5
日曜日



ぶんぶんボウル お笑いステージ



小松市消防音楽隊



作品展示



加賀太鼓保存会

ご来場ありがとうございました

11月4日(土)、5日(日)、下粟津会館にて公民館祭りが開催されました。館内には町内の皆様からお寄せいただいた多数の作品が、両日にわたって展示され、日頃の修練の成果をご披露いただきました。

4日の午後は子供会によるお楽しみ会があるのですが、午後6時30分からはお茶会、午後7時からは「桃山会」による詩吟発表、そして「琴きらら」による大正琴演奏が催され、日本の伝統文化が調和した素敵な時間を過ごしました。

5日は前日の雨も上がり、晴天に恵まれました。その天候に誘われ、多くの町民の皆様にご来場いただきました。

屋外では各種模擬店の他、みなみ診療所のご厚意による無料健康チェック、餅つき、フリーマーケットが、屋内では飲食コーナーが設けられました。

11時過からは舞台発表。最初のゲスト「小松消防音楽隊」による演奏を皮切りに、矢田野こども園と白嶺幼稚園の可愛い園児達のお遊戯、午後からは「加賀小町太鼓」、「麗姿クラブ」、「踊りの会」と町内サークルの皆様の演奏・演舞が行われ、再びゲストコーナーへ。「加賀太鼓保存会」の迫力のあるパフォーマンスの後は、今年も石川県に住みます芸人「ぶんぶんボウル」によるお笑いステージが開催され、会場を爆笑の渦に巻き込みました。

最後は恒例のお楽しみ抽選会、こちらもぶんぶんボウルの司会で行われ、当選者の名前が読み上がるたびに参加者全員が一喜一憂そして爆笑し、大盛り上がりのフィナーレとなりました。

ご来場いただいた皆様、運営に御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



お楽しみ会(子供会)



お茶会



詩吟(桃山会)

公民館まつり



大正琴(琴きらら)



加賀小町太鼓

屋内催し



踊りの会



白嶺幼稚園



矢田野こども園



太極拳(麗姿クラブ)



抽選会

屋外催し



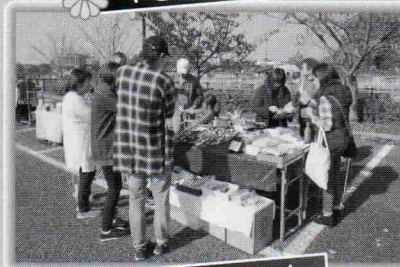
焼きとり(壮年会)



豚汁(明るい町づくり委員会)



ゲームコーナー(子供会)



フリーマーケット



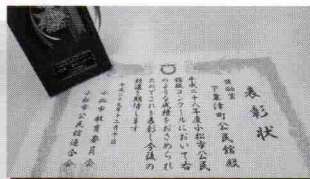
健康チェック(みなみ診療所)



餅つき(親和会)

館報表彰

『奨励賞』受賞



12月10日(日)こまつ芸術劇場うららにて、「第61回小松市公民館大会」が行われ、その中の「公民館館報紙(誌)コンクール」で『奨励賞』を頂きました。これは平成22年、27年に続き3度目の受賞になります。

この賞は、様々な記事の原稿等に快く協力して下さいました町民の皆様、公民館に関わってこられた先輩達の尽力の賜物だと思います。

これからも町内の記録、町民の皆様の思い出の手助けとなれるよう、充実した紙面創りを目指してまいります。



◆巳午会の皆様(出生順)
奉納 一、金拾萬円也

平成二十九年 初老

一年を振り返って

湯下八幡神社運営委員長 宮川 久夫

町内の皆様には、日頃より湯下八幡神社の運営、維持管理活動に、多大なご支援、ご協力を賜りまして、心より篤く御礼申し上げます。

当神社の祭事につきましては、春祭り、秋祭りをはじめとして、例年通り無事に執り行うことができました。秋祭りについては、台風18号が接近中のさなか、安全第一を考へ旗竿起こしを中止し、境内の提灯等の早めの撤収を実施致しました。結果、空振り三振に終わりましたが、町民の皆様を安全を最優先にと、祭事世話人の皆様と、時間帯などを総合的に考慮し、判断した対応でした。

さらに、16日(土)、降り続いていた雨が、仮装踊りの時間帯だけ雨が上がり、まさに奇跡と言っても過言ではない思いをいたしました。仮装踊りも大変盛り上がり、神様も大層な盛り上がり、大変お喜びになられたことと思います。

今年度の神社運営委員会、事業経過報告としましては、8月に、社務所内のトイレ改修、10月に、支障杉3本の伐採処理を実施し、また、台風21号がもたらした風雨の影響で、境内東側道路、南側道路等が、杉の枝葉等で埋め尽くされ、交通に支障をきたす恐れがある為、緊急連絡を取り、早朝6時30分から委員全員で、清掃処理に当たりました。11月に、提灯灯火用コンセントポールをアルミ製のポールに新しくしました。この先、想定外の事態が起こるかも知れません。対応出来る備えが必要かと考えます。

また、今後の事業計画案として、再来年(平成31年)は、社殿造営60周年に当たります。この機に幣殿の床改修を実施出来ればと、考えております。

「お宮さん」をお守りして4年が終わることになります。湯下八幡神社が町民の皆様を支えられ、守られていることを強く実感させていただきました。町民の皆様、ご指導、ご協力、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

町づくりのついで

15年間の活動内容 表 繁

平成15年6月8日に「下粟津会館」の落成式典が行われて、石川県では類を見ない木造建築の立派な会館が誕生しました。

そして、平成15年7月1日に「明るい町づくり委員会」が発足しました。会の主たる目的は、「下粟津町民が老若男女を問わず、多くの人々が会館に集まり、住みよい明るい町づくりに積極的に参加し、交流と親睦を深め、未来につなげる」ことをスローガンに、町内関係者（有志及びボランティア）の人達で組織を立ち上げて、活動を始めました。

事業内容は「目的」達成をするために、次の様なことを取り入れながら歩んできました。

- ① 町民の声を聞き（聴き）町の活性化を願い、ボランティア精神を養う。
 - ② 花づくりを通して、町に彩を添え、町民の憩う場所を整備する。
 - ③ 文化的な行事や学習会、健康教室、体力作り等を企画し実施する。
- 町民からのアンケート調査等を参考に、現状において可能な事業の実施をしてきました。

会館内の活用では、現在も毎週実施されている健脚体操のほか、健口体操、健指体操、ゲーム体操、そば作り、餃子作り、うどん作り、ゴキブリ団子作り、男の料理教室、映画、落語・漫才のビデオ鑑賞等を、年間3〜4回、また屋外では、北陸電力や社会福祉協議会、県の男女共同参画などからの無料バスを利用して、能登志賀町の原子力発電所、金沢のしいのき迎賓館、蓄音器館等の県の施設見学、北陸放送、金石の味噌工場等昼食を兼ねての社会見学を実施してきました。

花づくりに関しては、現在も町民の誰もが会館の前を通るだけで、お解かりのように川淵と会館の入口に、きれいに良く手入れされた花壇を見られているでしょう。これまで毎年町に彩を添えて町民に憩いを与えて、花を育てておられるボランティアの、皆さんの活動に頭が下がります。花苗の手配は、県の緑化活動助成金、小松市の緑化公園課からの、在苗の年2回の配布、小松市農協女性部からの花苗の配布等、自分達で支援される関係先を見つけて、12名位のボランティアの女性で、土造り、苗植え、水やり、草むしり等、花壇をより美しく、見る人に憩いや楽しみを与えるための花のレイアウト、色の配置を考えての作業などを、全員で取り組んでいます。その努力が実を結んで過去にも、県市、JA小松の花コンクールで何回も表彰を受けていますが、今年には特に県から「奨励賞」、市から「銀賞」、JA小松から「優秀賞」が授与されました。以上のように15年間の事業活動を簡潔に記しました。



絆づくりで 住み良い町

町内会長 西出 隆則

「絆づくりで住み良い町」をキヤッチフレーズに、次の4つのことを重点項目として取り組んできました。

1つ目は子どもたちの安全をサポートするため、わがまち防犯隊のウインドブレーカーを着て子どもたちの登下校の見守りをしました。

2つ目は高齢者のサポートをするため、町内会役員、民生委員、児童委員、各福祉推進委員、各組組長が力を合わせて取り組みました。安全に安心して暮らせる住み良い町づくりを目指し、高齢者の見守りを主目的に福祉委員会を設立し、機能させてまいりました。

3つ目は各組要望事項を完了させることです。道路の白線引き、道路補修、カーブミラー設置、LED設置、公園整備、「三集積」所整備はほぼ完了致しました。しかし、まだ不足の所もあり、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

数多くある側溝改修は小松市役所道路河川課へ要望事項としてあげ、今年度は一件認められ、3月末完了予定です。これからも強く要望していきたいと思っております。

4つ目は頭無堤（かしらなしつみ）の埋め立てです。関係機関である小松市役所まちデザイン課と

北陸新幹線鉄道運輸機構に対して、これまで数回にわたり早期埋め立てに向けて要望して来ましたが、2つの機関が設計施工のやり取りに慎重を期しており、なかなか開始できないのが現状です。今後埋め立て工事開始に向けて町内会役員一丸となって強く要望していきます。

この1年、各組組長の方々、各種団体の方々、そして町民の皆様にご理解とご協力を頂いたことに深く感謝致します。今後は町民の一人として、これからも安心して暮らせる住み良い町づくりに尽くしていきたいと思っております。

一年を振り返って

公民館長 谷敷 敏一

今年一年公民館活動に、並々ならぬご支援、ご協力を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

町民運動会では途中雨で中断するなど降ったり止んだりの天候の中、各競技で大熱戦が繰り広げられ大盛況のうちに終了いたしました。

秋祭りの仮装輪踊りでは台風18号の影響で開催がやぶられました。が、昼間の雨も開催直前には上がり趣向を凝らした仮装で大いに盛り上がりました。

公民館祭りでは今年も大変盛り上がりを見せ、大いに賑わいました。女性部、壮年会、輝寿会、親和会、明るい町づくり委員会、各種団体等の皆さんに大変お世話になりました。

公民館主事をはじめ執行部の皆様には大変ご苦労様でした。今年の執行部は雨で中止になつてもおかしくない大会をすべて成功させました。素晴らしいメンバーでした。

一年を振り返って

公民館主事 高松 宏和

今年一年公民館活動に町民の皆様を始め、町内会役員、組長、各種団体スタッフのご協力のもと公民館行事を無事行えましたことに、厚く感謝致します。

今年秋祭り開催時に台風の直撃があり、開催が危ぶまれましたが、何とか仮装輪踊りは行えました。行事は屋外で行われるものが殆どで天候に左右される事が多く、そのことで心配とやりくりで頭を悩ました。が、その他の行事は天候にも恵まれ多くの方に参加していただきました。

公民館行事、内容については多くの方から色々なご意見、ご感想をいただきました。行事については長年続いているものが多く少しでも内容に変化をつけ町民の皆様に参加して頂けるように工夫して地域の活性化に繋げていきたいと思っております。町民の皆様に行事参加が役員の原動力になると思っております。今年一年ありがとうございました。